

2011 年

11 月 27 日（日曜日）「信じる」「愛する」 「京丹後市 PTA 研究大会」

子供たちは、ご家庭にとっては何かいうまでもなくもとよりですが、地域にとっても「この上ない宝」であります。本市の子供たちをご家庭はもとより、学校や地域、行政をあげて健やかに育てていくため、昨年は、合併をした紳士の広がりの中で学校再配置の計画を策定することができました。この計画は単なる統廃合ではなく、耐震整備も含め、中長期的な教育展望にたった適性配置と小中一貫教育さらには幼保一体による幼保小中の一貫する教育を目指した、展望の視野がきく雄大な教育環境づくり、学校づくりのスタートとなるものです。

PTA の皆さんには、地域の皆さんともどもに多大なご尽力をいただき、感謝をしています。私は、教育の根っこにある大切なこととして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」とともに、これらの総合したこととして、子供たち一人ひとりの「生きる力」の育みをいかにたすけていくか、このことがとても大切に思います。

このためには、子供たち一人ひとりの“無限の可能性”を素直に信じる、“成長を願う無限の愛情”を注がせていただく、このことがとても大切に思います。

周りの大人たちから可能性を信じられることで、子供たちは自らの可能性に気づき、自らへの“信”も芽生えてくる。大人たちの愛情に見守られながら、くじけても立ち上がる足腰が育つ。そうすると子供たちはほっておいても育っていく、自分で自分を育てていく。「生きる力」が自分の中から一つ一つ身になってくる、身についてくる。

「信じる」「愛する」。基本のことですが、地域、学校とともに、ご家庭の大きな役割だと思えます。今後とも、PTA の皆さんともどもに本市の大人たちをあげて、ご家庭のお子さんのもとより、地域の子供たちにも一人ひとりの可能性を信じ、愛情を注ぐ、大切にしてお気持ちをますます深め、将来の地域や日本、世界を担う子供たちが豊かにたくましく大きく成長していく、ひろやかな育みを真心をもって援けていきたいものです。